

開館1周年記念特別展

古地図にみる世界と日本 — 地図は語る夢とロマン —

わが国で科学的に正確な地図が描かれるようになるのは、明治時代以後である。それ以前の地図は不正確なものである。しかし、それらの地図には当時の人々のさまざまな"思い""夢""ロマン"といったものが刻みこまれており、それが古地図の魅力となっている。

この特別展では、安土桃山時代・江戸時代を中心に、紙、屏風、皿等の工芸品等々、いろいろな物の上に描かれた世界図、日本図、航路図の展示により、昔の人々の"地図にこめられた思い"を探ろうとしたものである。

会期／昭和58年10月8日（土）～11月23日（水・祝）

会場／特別展示室1・2、南蛮美術館

主催／神戸市立博物館、神戸市教育委員会

開館日数／39日

入館者数／11, 359人

出品件数／144件170点



扶桑国郡水陸地理図（六曲一隻） 部分